

第2章 情報企画室図書班

【構成員】

担当教授(兼):秋山 英二

図書係長:福井 ひとみ/図書系職員:坂野 正枝/事務補佐員:[2 名]

【図書整備委員会】

委員長 准教授: 近藤 創介

委員 准教授: 森戸 春彦、大谷 優介、新居 陽一

助教: 伊藤 啓太、古川 哲也、谷口 貴紀、味戸 沙耶、木村 雄太

オブザーバー 教授: 秋山 英二

総務課長: 長岡 幸司

1. はじめに

図書室は、19 世紀から今日までの材料科学に関する幅広い領域の資料を収集・所蔵し、所内・学内はもとより国内外の研究者に幅広いサービスを提供している。

2. 組織・運営

図書室は事務部総務課に図書係として属するが、情報企画室のもと、図書整備委員会とも連携して運営され、係長を含む職員 2 名と事務補佐員 2 名の体制で業務を行っている。一方、図書整備委員会は所内の若手教員で構成され、研究者の視点から、図書室へ助言を行うとともに、利用者への広報活動や年度初めに新たに本所所属となった構成員向けのオリエンテーション等の実施においても図書室に協力している。このような委員会の存在は、学内他部局にはない本所の特徴と言える。

3. 活動状況

3.1 蔵書管理

(1) 蔵書の充実

図書整備委員および研究室からの推薦や、新刊案内などを参考に、物質・材料科学研究に有用な図書を購入し、蔵書の充実を目指している。また、研究室や研究者が個別では購入しにくいシリーズ本や電子ブックなども必要に応じて購入し、2022 年度は冊子 48 冊、電子ブック 33 タイトルの図書を購入した。

(2) 次年度雑誌購入希望調査

3～4 月に調査を行った結果、2023 年度購入に関する変更はなかった。

(3) 蔵書点検

毎年2回、蔵書の定期点検を行い、不明図書・発見図書の確認や書架の整備を行っている。2022年度は2022年8月23日～29日、2023年2月7日～10日に実施。8月の1回目の点検で2冊発見されたが、新たに2冊が不明図書となった。2月の2回目の点検では1冊発見された。累積の不明図書冊数は10冊である。点検の結果、発見される図書もあるが、依然、不明となるものもある。図書は共有財産であることから、引き続き、貸出手続の徹底や返却期限の厳守を呼びかけていきたい。

3.2 利用者サービスの充実

(1) 利用者向け講習会

①図書室オリエンテーション(2022年4月20日(水)開催 参加66名)

毎年春に金研の新構成員のために図書整備委員を講師とした主要データベースの講習と、図書室利用案内を組み合わせたオリエンテーションを行っている。

取り上げたデータベース: Alloy Phase Diagrams、CiNii、ICDD、ICSD、Int. Tables for Crystallography、J-PlatPat、KAKEN、Phase Equilibria Diagrams、SciFinder-n、Scopus、Web of Science

②図書室・公正な研究活動推進委員会共催ウェビナー「研究成果を論文発信しよう-出版社の視点-」

開催日時: 2022年11月18日(金) 15:30-16:30

講師: 井上淳也氏(エルゼビア・ジャパン)

参加者数: 69名

(2)「金研図書室だより」の発行(2022年5月24日、6月13日、7月4日、10月25日発行)

図書室の広報と認知度向上、図書館や資料の使い方の周知のため、「金研図書室だより」を発行し、所内に配布。

3.3 利用環境・施設の整備

(1) 設備の更新・改善

①3号館4階書庫

地震被害により、書架が傾斜したため、書架修繕を実施。また、経年劣化により、使用不能となった防犯カメラの更新を行った。

②閲覧室・事務室

災害発生時の利用者等の安全確保、速やかな避難誘導のため、閲覧室・事務室の夜間点検を行い、不足のある個所に蓄光テープを貼り足した。また、ヘルメットの購入時期や懐中電灯の電池状況等、防災用品についても点検。

(2) 書庫狭隘化への対策

利用されていない重複図書を整理し、今後の図書の増加に備えた。

4. 今後の課題・懸案等

4.1 不明図書への対策

貸出手続きをせずに持ち出される図書が常に一定数あるため、掲示やメールにて、注意を喚起した。また、資料の無断持ち出しへの対策として計画されていたICタグの導入について、資料へのICタグ

貼付作業を進め、機器を購入し、蔵書点検や資料探索への活用を始めた。

4.2 電子ジャーナル費用

購読タイトル削減や出版社との交渉等の全学的な努力にもかかわらず、本学全体の電子ジャーナル経費は増え続けており、高止まりのままである。さらに現在は円安傾向もあり、予断を許さない状況が続いている。

5. 統計（2022年度）

■施設

総面積	書架総延長	図書収容能力	総閲覧座席数	パソコン台数	複写機台数
534 m ²	2.39km	6.6 万冊	44 席	6 台	3 台

■資料

		和書	洋書	合計
蔵書	蔵書冊数	18,698 冊	59,747 冊	78,445 冊
	年間受入冊数	51 冊	4 冊	55 冊
雑誌	所蔵雑誌タイトル数	421 誌	947 誌	1,368 誌
	年間受入雑誌タイトル数	87 誌	70 誌	157 誌
	電子ジャーナル数(全学)	34 誌	13,498 誌	13,532 誌
	新聞	8 紙	1 紙	9 紙

* 蔵書は研究室貸出分や製本雑誌を含む

* 「受入」とは購入や受贈した図書を図書室の蔵書として登録すること / 電子ブック等は含まない

■サービス

開室日数	サービス対象		入室者	貸出	文献複写		現物貸借	
	教職員	学生		貸出 (うち搬送)	他館から 取寄	他館へ 提供	借用	貸出
238 日	279 人	186 人	2,895 人	1,154 冊 (382 冊)	60 件	206 件	1 件	12 件

* 新型コロナウイルス対策のため、夜間・休日の無人利用は休止

* 貸出の「搬送」とは学内他館より取寄せて貸し出した図書